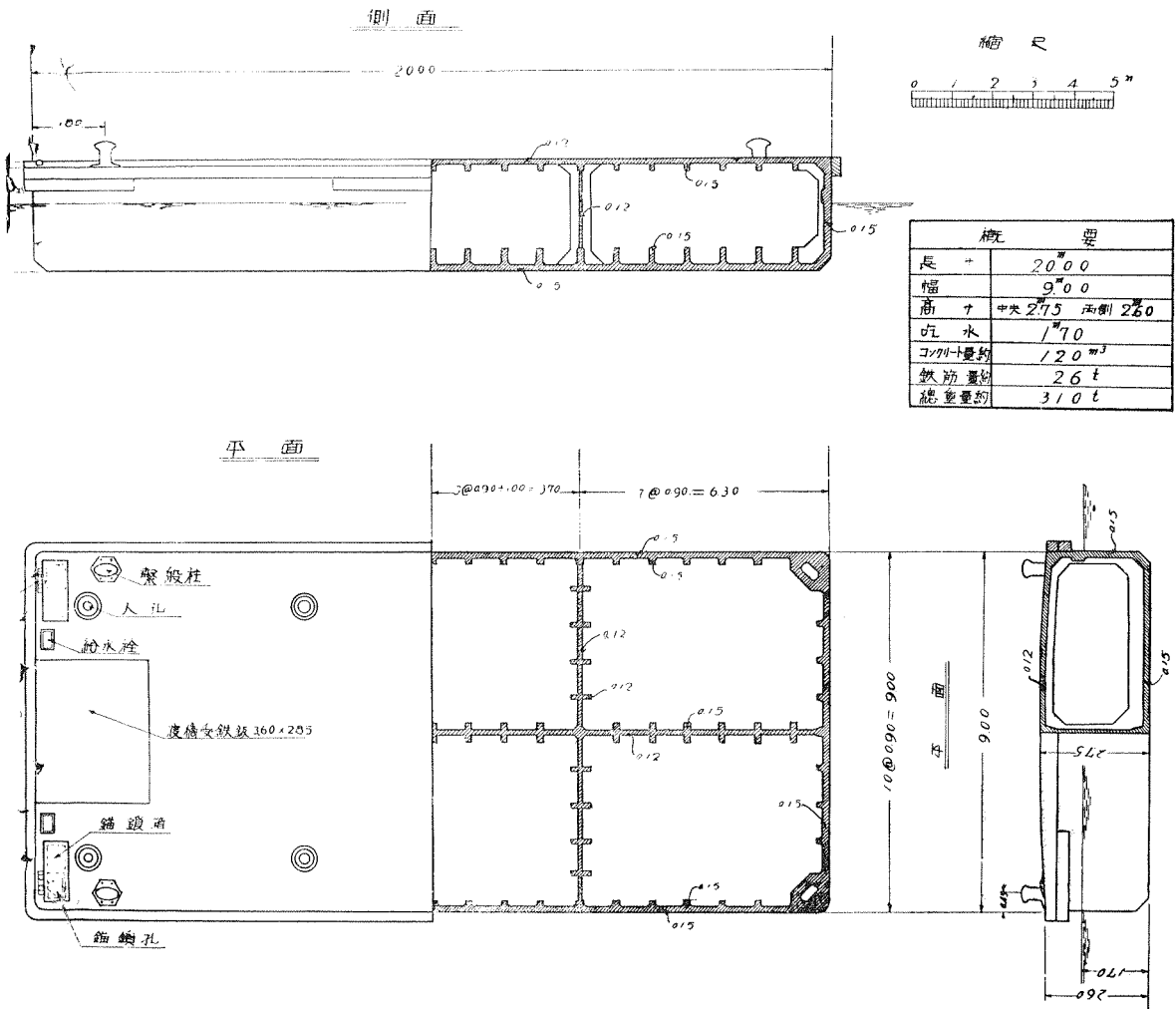


白杵港棧橋用浮函一般構造圖

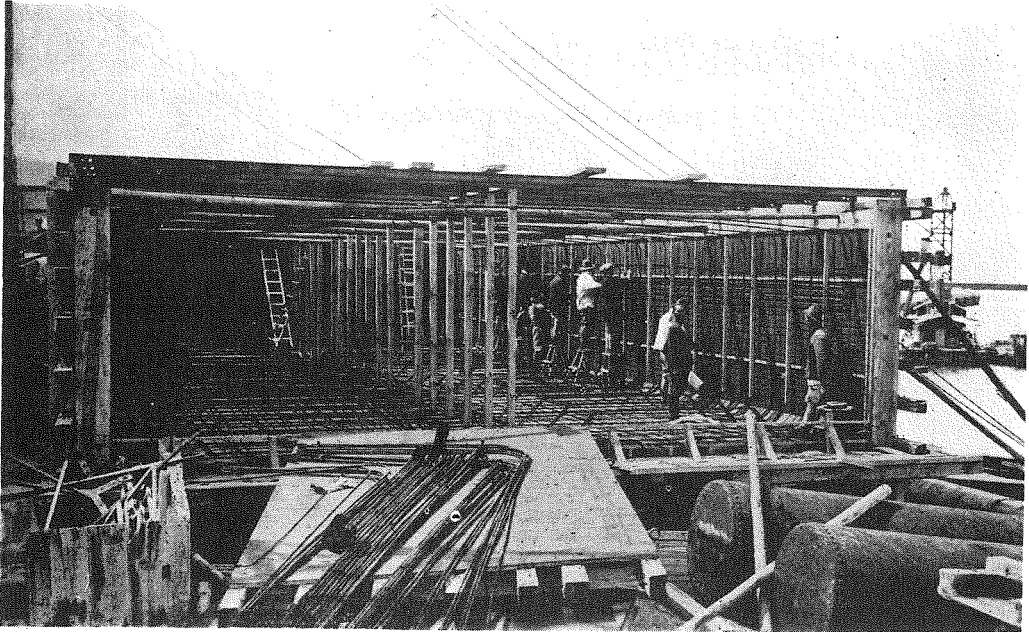


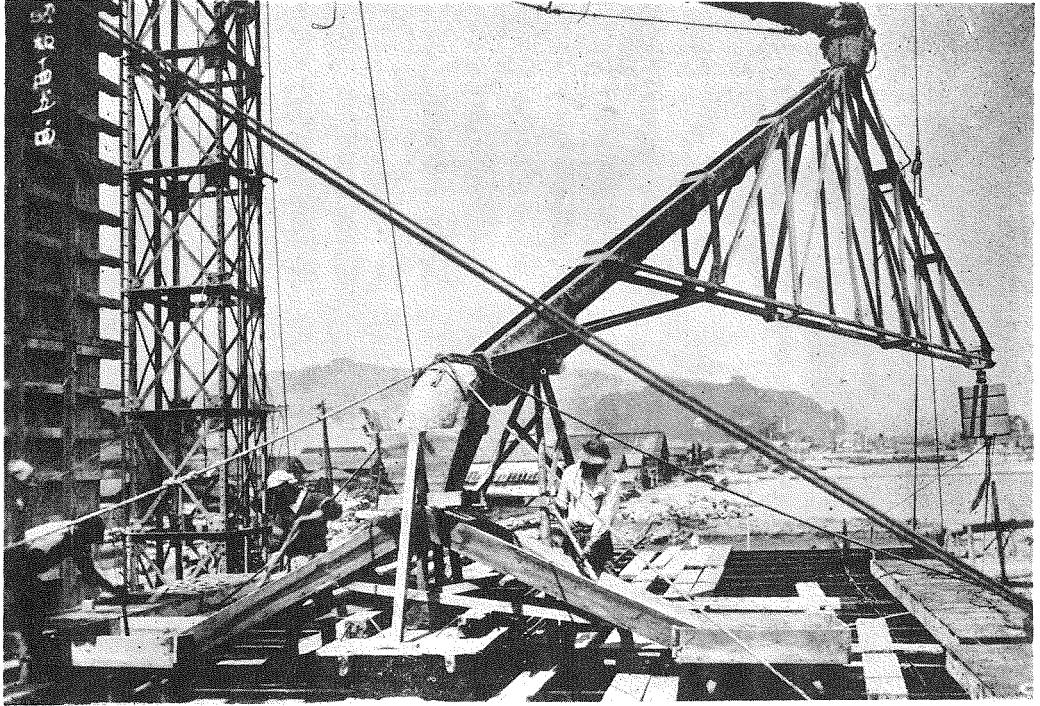
設計及施工 — 内務省大分港修築事務所 (昭和14年度)

臼杵港棧橋用コンクリート浮函工事

製作臺上に先づ3方の外型枠を建て、上部を30kgレールで繋ぎ、内部に鉄筋を組立てる。

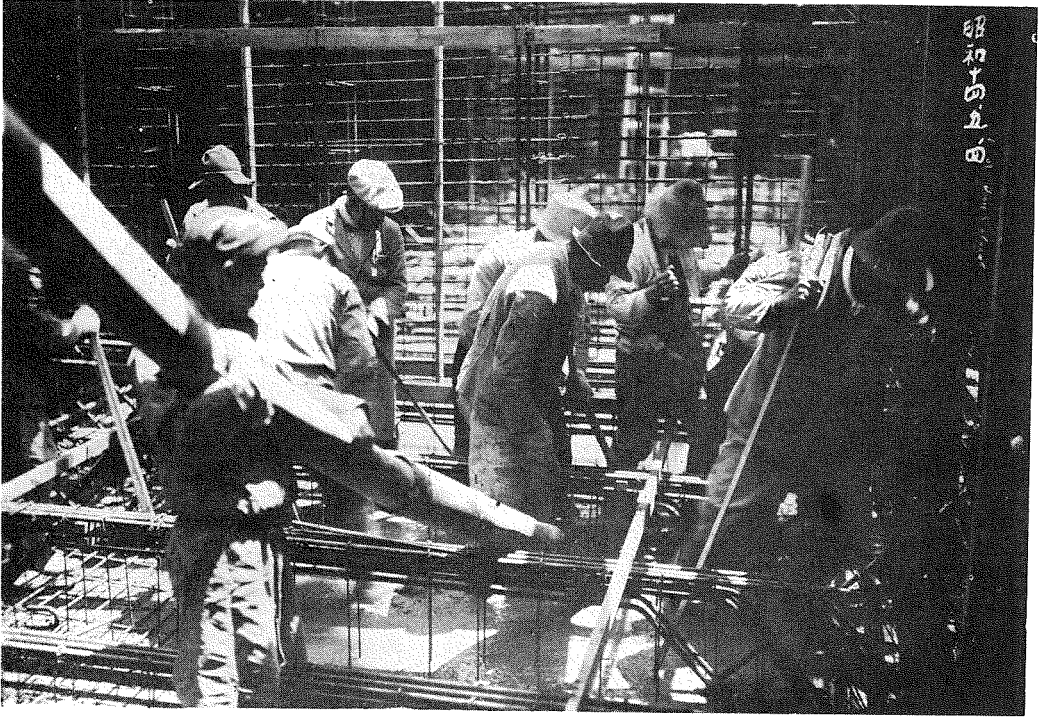
3. 鐵筋組立。





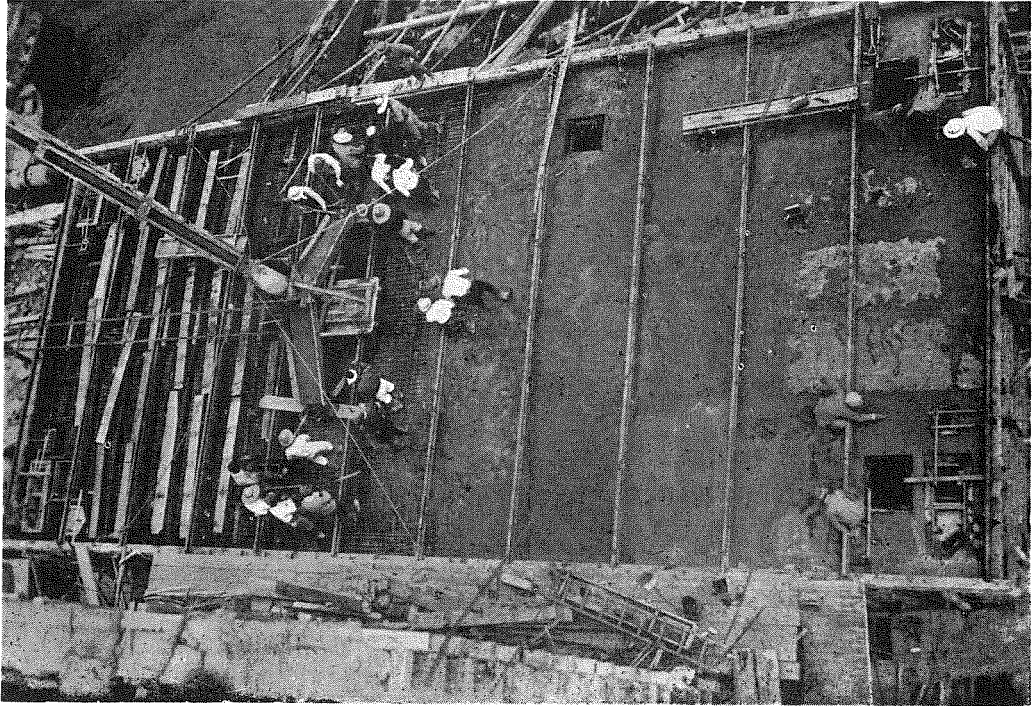
4. コンクリート打作業（其ノ一）。

シュートから来たコンクリートを臺車上に取付けた箱に受け、木樋で左右に振分け、夫々木製漏斗に導く。コンクリートの配合は1:1.5:3、スランプは20cm附近、砂利は15mm以下。



5. コンクリート打作業（其ノニ）。

木製漏斗に受けたコンクリートを鉄力製フレキシブルパイプで所定の箇所に導く。



6. コンクリート打作業（其ノ三）。

コンクリートは4段に分けて打つ。3段迄打つて天井の鉄筋を組立て、最後に天井のコンクリートを打つ。

7. 浮 函 内 部。

中程に水平の線が入つてゐるのは漏水検査の爲函内に注水した時の跡である。漏水は1ヶ所も認めなかつた。

